

第5学年 国語科（書写）学習指導案

第5学年 13名

指導者 戎田 利彦

上杉 礼央

1 単元 文字の大きさ（漢字と平仮名）

2 単元について

本学級の児童は、自分のめあてをもって積極的に書写学習に取り組んでいる。6月に学習した『成長』でも、意欲的に取り組み、筆順と字形を意識して書くことができた。その後の様子を見てみると、漢字スキルに書く文字が整うようになったり、行事のまとめで感想文に書く文字を相手が読みやすいように書いたり、文字に向き合う姿勢がよりよいものになっている児童が増えてきている。

年度当初の書写に関するアンケートによると、児童全員が「文字を書くことが上手になりたい」と回答していた。その理由として、「きれいに書けるとうれしい・気持ちがいい」という満足感や達成感、友達や先生からよさを認められる喜び、身近な人が書く文字への憧れなどが挙げられていた。「自分の書いた文字は好きですか」の回答に対しては、「うまく書けない」「きれいじゃない」など、全体の3割の児童から否定的な意見も見られ、自分の文字への自信のなさがうかがえた。これらのことから、本校の研究副主題「楽しみ つながり 自信を育む書写学習」を実現するために、児童が自他のよさを認め合い、楽しく自信をもって取り組める書写学習を進めていきたいと考える。

5年生は、これまで学習してきたことを振り返り、さらに発展させて、今後につなげていく学習の過程が大切である。既に学んだ「中と外の組み立て方」「筆順と字形」などの学習を想起させながら、毛筆で「文字の大きさ（漢字と平仮名）」について学び、さらに硬筆の学習を通して日常生活へとつなげたい。

本単元では、『登る』を教材文字として、平仮名は漢字より小さめに書くことや、文字の中心や余白に気を付けることを学習する。第一次では、文字（漢字と平仮名）の大きさや形、配列を掴みやすくするために、字形の枠を切り取った外形シートや分解文字、一画目の始筆だけを示したシートなどを準備する。第二次（本時）では、かご字や始筆を示したシート、ホワイトボードや水書用紙などを練習の場で選択させ、主体的に取り組めるようにする。また、主となるめあてと自分のめあての二つをもたせ、教材文字に自分の課題を明確にするためのポイントとなる場所に付箋を貼り、自分や友達にこの時間で特に気を付けて書いた箇所を分かりやすく示しておく。その明確にしためあてを達成するために、活動の中で始筆の部分に気を付けたり、中心と漢字と平仮名のつり合いを意識したりできるようにする。そして、互いにアドバイスや対話をすることで、自他のよさや改善点にも気付かせたい。このような書写学習を通して自分の書く文字を好きになり、自信をもって書いたり、日常生活に生かしたりしていこうとする態度を育てたい。

3 単元の目標

- (1) 漢字と平仮名の大きさの違いについて理解し、漢字と平仮名の大きさに気を付けて、配列を整えて書くことができる。
- (2) めあての達成に向けて意欲的に取り組み、自分や友達のよさを見つけて、伝え合い学び合おうとしている。

4 単元の評価規準

ア	知識・技能	漢字と平仮名の大きさの違いについて理解し、配列を整えて書いている。
イ	主体的に学習に取り組む態度	① 自分のめあてをもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 自分や友達の文字のよさを見つけ、伝え合おうとしている。

5 単元の指導計画（3 時間）

第一次 漢字と平仮名の大きさの違いや字形に気を付けて書こう。．．．．． 1 時間

第二次 漢字と平仮名のつり合いに気を付けて書こう。．．．．． 1 時間(本時)

第三次 漢字と平仮名の大きさを確かめて、硬筆で字形を整えて書こう。．．．．． 1 時間


6 本時の学習

(1) 目標

○漢字と平仮名のつり合いに気を付けて書くことができる。

○自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとする。

(2) 展開

過程	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてをつかむ。	1 本時の学習のめあてをつかませる。	
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">漢字と平仮名のつり合いに気を付けて書こう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">・配列 ・文字の大きさ ・字形</div> </div>		
高める	2 自分のめあてに向かって練習する。 ・自分のめあてに合った練習方法を選び、練習する。(半紙の折り方など) ・互いにアドバイスし合いながら練習する。	2 めあてに合った練習ができるように支援する。 ・練習用紙 ・水書用紙 ・ホワイトボード ・シート	ア漢字と平仮名のつり合いについてよく理解し、字形を把握して配列よく書いている。(観察)
確かめる	3 本時のまとめをする。 ・まとめ書きをする。 ・自己評価や相互評価をする。 ・まとめ書きをペアで確認する。	3 めあてに合ったまとめ書きや評価ができるように助言する。 ・一人一人の児童の変容を見取り、そのことを適宜伝え、ICTなどを活用し、ペアでの交流を活発なものにする。	イ②自分や友達のよさを見つけて伝え合おうとしている。(発言・観察)
生かす	4 本時での自分の成長や努力したことを振り返り、次の時間に意欲をつなげる。	4 本時の振り返りをし、次時の学習への意欲を高める。	

(3) 評価及び指導

① 「十分満足できる」と判断される状況

ア	漢字と平仮名のつり合いについてよく理解し、字形を把握して配列よく書いている。
イ②	自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけ、進んで伝え合おうとしている。

② 「おおむね満足できる」状況を実現できるための具体的な指導（手立て）

ア	水書用紙や練習用紙などを効果的に活用できるよう助言し、視覚的につり合いのとれた文字を理解させる。
イ②	自分や友達の文字が、めあてに合った練習方法によりどのようによくなったか気付くことができるよう付箋に書かれた内容をもとに助言する。